

1996年1月16日

送  
り  
先

MB (北陸) システム営業課 御中	丸善 (北陸) 営業課 御中	陸支 営業企画部	陸支 公共ビルシステム部
七宝 システム事業部 御中	NES 情報システム課 御中	(富山) 電力部	(金沢) 半導体・電子デバイス部
JMC 営業課 御中	北菱 情報機器課 御中	FAシステム部	FAシステム部
エム・アイ・エス 御中	MCC (北陸支所) 御中	公共ビルシステム部	電子・情報通信部
陸支 (富山) コ課			

# 陸支 コ 課 情 報

No. 49

## 内容

- ・シーケンサとシーケンス制御 第6回
- ・情報誌トピックス — 情報誌は発行責任者保管
  - 日経コンピュータ 12月25日号
  - 日経パソコン 1月15日号
  - 日経エレクトロニクス 1月15日号
  - 日経マルチメディア 1月号 日経オープンシステム 1月号
  - 日経バイト 1月号 ASCI I 1月号
  - SUPER ASCI I 1月号
  - ASCI I DOS/V 1月号
  - 月刊PC 1月号
  - DOS/V magazine MULTIMEDIA 1月号
  - PC WAVE 2月号
  - LAN TIME 2月号

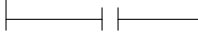
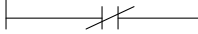

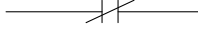
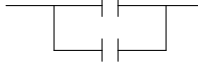
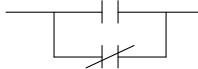
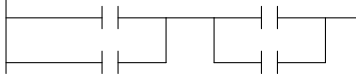
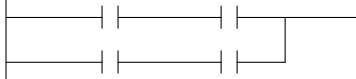

ソフトウェアはSRCへ！  
キャンペーンも随時実施中  
詳しくはSRCニュースを

## 発行責任者

三菱電機株式会社 北陸支社  
電子・情報通信部 コンピュータ課  
稲崎義明

## 4. シーケンサのプログラム

シーケンサ（当社の MELSEC シリーズなど）で使用するシーケンスプログラムは、前回まで説明していたシーケンスとほぼ同じようなイメージで構成され、シーケンスが理解できれば作れるようになっていきます。MELSEC FX シリーズの場合、基本シーケンス命令には次のものを始め 20 種があります。

(記号、呼称)	(機能)	(回路表示、対称要素)
・ロード	演算開始 A 接点	
・ロードインバース	演算開始 B 接点	
・アンド	直列接続 A 接点	
・アンドインバース	直列接続 B 接点	
・オア	並列接続 A 接点	
・オアインバース	並列接続 B 接点	
・アンドブロック	ブロック間直列接続	
・オアブロック	ブロック間並列接続	
・アウト	コイル駆動命令	

これらの命令は基本的に機器を接続するシーケンスと同様ですから、リレー、スイッチ、コイルなどを組み合わせたシーケンスをそのまま移行することができます。またシーケンサの場合は、外部センサで行うような立ち上がり検出、立ち下がり検出などや、演算処理や記憶読み出し、判断処理、サブルーチンコールなどができます。このあたりはシーケンサもコンピュータの一種と考えることができます。しかし、リレーシーケンスの場合は、いわば同時処理（同時にリレーが ON や OFF した場合は別々に動作する）を行うことができますが、シーケンサの場合はプログラム設定順序に従って処理を行うため、ほぼ同時に信号が入力された場合、設定順序によっては動作が異なることがあります。

シーケンサのプログラムは当初のようなリレーシーケンスをそのままプログラマブルにしようとする段階から、多機能とし、データ処理機能、外部機器との通信機の鵜を持つような目的を特定したコンピュータとっていいものになってきています。これまでは OA 化によって普及してきたコンピュータと、工場のシーケンサは別のものであるように取り扱われてきましたが、会社内のデータの総合管理の観点からも、シーケンサで収集したデータの基幹業務の中での活用や、生産管理の一部としてのシーケンサプログラムのリアルタイムの変更などがニーズとして中小の工場でも出てきています。相互のデータ利用について対処する必要があるものと考えられます。

## (情報誌トピックス)

○経産省 12月25日号

特集 W i n t e l時代の終わり

ネットワーク統合に向けた新たな競争

→これまでパソコンの中心であったマイクロソフトとインテルの通称“W i n t e l”の時代はインターネットなどの広がりによりネットワーク中心の時代に突入しようとしてきている。今後ネットワーク自体がアプリケーションまで処理するようになるとクライアントはネットワーク機能があれば十分となり、W i n t e lにする必然性はなくなる。

特集 大規模C/Sは3層でつくる

2層システムの限界を破る挑戦

→2層システム(クライアントとサーバに処理を分けたシステム)はクライアントの負荷が大きく、クライアントサーバ間の通信量も多いが、その限界を打破するための3層システムは、プレゼンテーション層とファンクション層、データ層の3層で構成し、クライアントはプレゼンテーション層のみを担当する

3層システムはクライアントと、データベースサーバの他にアプリケーションサーバで構成され、三菱は、S A P日本のR/3とF o r t eを利用して全社基幹システムの再構築プロジェクトを推進中

○経産省 1月15日

特集 今年こそインターネットを始めよう

モデム、接続ソフト、プロバイダ選びはこれがベストだ

→インターネットの利用環境は様変わりし、プロバイダの接続料金の低価格化、商用パソコンネットワークのインターネット接続サービス開始が相次いでいる

- ・インターネット環境が整った
- ・パソコン通信サービスを使いこなせ
- ・インターネットレディのパソコンを選ぶ
- ・W i n d o w s 9 5でインターネットにつなぐ
- ・低価格T A登場で身近になったI S D N
- ・28.8k b p sモデムは2万円台前半で手に入る
- ・自分にあったプロバイダを選ぶ
- ・利用したい機能があるソフトを選ぶ
- ・これだけは知っておきたいインターネット基本用語

レポート インターネット市場に本気になったマイクロソフト

ブラウザをW i n 9 5に統合、O f f i c eとの連携も強化

進んだ企業はもう使っている社内で活用するインターネット

社内情報共用にW W Wサーバを行かせ

○経路 テレビ放送 1月15日号

特集 インターネットでテレビ放送が始まる

→インターネットを通じてパソコンなどの端末に動画を配信するサービスが始まる。普通の企業や個人が全世界に向けて放送できるようになる

→11/30 TOUR'95 [D&L] をインターネットを通じて生中継実施、5000件以上のアクセス

1部 <サービスの胎動>

ISDNやアナログ電話回線で動画のリアルタイム再生が可能に

2部 <動画配信技術>

テレビ放送を中継サーバで分配しネットワークの負荷を減らす

3部 <動画圧縮技術>

非標準のデータ圧縮技術が表舞台に、動画配信に適した負荷機能が魅力

特集 デジタル放送、米国に続いて欧州も実用へ

→1994年12月に150チャンネルのデジタル衛星放送を米国で開始し100万の加入者を集め、1996年には欧州が、日本も1996年4月から始める

1部 <デジタルテレビ放送>

97年に500チャンネルの衛星放送を実現

2部 <デジタルラジオ放送>

DABシステムが変調にOFDMを利用

○経路 ネット 1月号

特集 インターネットパワーの全貌

7000人アクティブユーザ調査から読み取る

Part1 日本の現状－8割がオンラインショッピングに強い意欲

研究者・学生のメディアから解き放たれる

Part2 世界の潮流－2000年には1億ホストに

英語圏市場は日本の30倍を超える

Part3 メディアのゆくえ－マスとパーソナルがクロスオーバーへ

メディア融合の発想がビジネスの成否決める

Part4 データ編－調査方法と解答者のプロフィール

第1回「インターネットアクティブユーザ調査」結果

特集 米国から始まるインターネット高速革命

CATVでネットサーフィン

→光ケーブルで各家庭を結んでいるCATVがインターネットとの接続サービスを米国で始めようとしているが、東急ケーブルテレビも97年に開始する

Monthly ブラウザ選びから始めるインターネット

Netscape、Microsoft、Oracle主要3製品の違いはここだ！！

→ブラウザは単なる閲覧ソフトから広範に利用できるソフトと変化

○経済誌 1月号

特集 進化する電子メール

企業システムとの連携強め、新情報系の基盤に

→定型的な業務に電子メールを活用する企業が増えているが、ベンダー各社は今後企業システムのインフラの地位を狙い次世代メール製品を登場させてくる

第Ⅰ部 基盤整備

企業システムのインフラに向け運用方法やツールの提供が進む

→メモ代わりの電子メールの利用段階から、誰にでも使える環境の充実によって企業システムのインフラとなるが、誰にでも使える、どこともつながる環境が重要になってくる

第Ⅱ部 活用法

メールを徹底的に活用するユーザ、開発ツールの充実が後押し

→電子メールを組み込んだアプリケーションの実例と開発ツール

第Ⅲ部 将来動向

企業インフラへ向け、大規模対応、運用管理、開発ツールの拡充進む

→企業システムのインフラとなるためにロータス(NotesR4)、マイクロソフト(Exchange)、ノベル(GroupeWise)の各社は大規模対応、運用管理ツール、開発ツールなど拡充した次世代の製品が登場する

検証 C/Sシステムとネットワークの融合デモ事前報告

ネットワーク構成によるシステム性能の違いを見る

→10M、100M EthernetやATMフレームリレー、セルリレーなどを比較、2月のショーでデモンストレーション

オープンフロント Pentium Pro搭載のPCサーバ

96年前半に出荷スタート、後半には超4CPU構成が出荷へ

オープンサーバ 100M Ethernet用LANボード

2万円を斬る製品が続々登場、急速に製品の選択肢も拡大

○経済誌 1月号

特集 ホームコンピューティング時代の幕開け

→2000年には4割の普及となると予想されるパソコン、InternetとWindows 95のブームを契機にホームコンピューティングを考える

第1部 総論

Windows 95フィーバが時代の幕を開ける

→まずは強迫観念で家庭にパソコンが入る?

第2部 家庭向パソコン

テレビや電話を取り込み家電の中心的存在へ

→パソコンはテレビやオーディオ、電話などを取り込今後家庭電化製品と確実に競合する存在となる

第3部 通信インフラ整備

家庭でInternetならそろそろISDN

→加入電話の使用料2200+使用料、ISDNは2890+使用料  
(ただし、パソコンを利用しながら電話ができる)

第4部 ゲームブーム

PCはゲーム機ではない、新ジャンルの開拓がカギ

解説 Pentiumの次世代になりそびれたP6の誤算

→P6(PentiumPro)は16ビットの性能が低く、Windows 3.1/95をメインターゲットとしなくなった

○ASCII 1月号

特集 パソコン雑誌が書かないWin95ゲームの秘密

→最新95ゲーム情報から、NINTENDO64、最新3Dアクセラレータ情報まで

特集 PentiumProとWin95マシンでGO!GO!

→世界最速のPentiumProマシンのパフォーマンスから、Win95搭載マシンまで

企画 Secret of PentiumPro

→謎に包まれたPentiumProのベールをはがす

企画 デジタルビデオの正体

→「DV方式」のデジタルビデオの正体とパソコンとの連携などを紹介

○SUPERASCII 1月号

特集 Windows95セットアップの内部メカニズムを探る

PC管理者のためのWindows95セットアップ完全マスタ

Review Over1Gbytes EnhancedIDEドライブ10機種

→1Gbyte以上のHDDの注意と比較

○ASCII DOS/V 1月号

特集 Windows95総合情報特集

Win95パスポート

第1回WINDOWS95強化月間

→Win95に関する問題を多角的に解説する連載

・Win95はコイツで乗り切れシステム周辺機器増設

・教えてWindows95スペシャルQ&A100

・ワタシのデスクトップ

・山田祥平の戦うWindows95

・最新!Windows95対応フリー&シェアウェア

・MacユーザのためのWindows95入門

・Windows95アプリケーションフライングスケジュール

特集 Win95マシン選びのキーポイント  
NewComersSpecial  
→各社のWin95マシンの総力チェック  
apricotMS540を含む

○週刊PC 1月号

特集 ボーナス、クリスマス、お年玉で買える  
魅惑の周辺機器5ジャンル  
→低価格となり家庭用に購入が可能になったものの特集

- ・カラーインクジェットプリンタ
- ・フラットベッドスキャナ
- ・FAXモデム (Internetモデル)
- ・デジタルスチルカメラ
- ・3Dグラフィックアクセラレータ

最新製品情報

- ・PC-98
- ・一太郎7&ATOK10
- ・ロータススーパーオフィス96
- ・カラーレーザプリンタ
- ・PentiumProマシン

○DOS/VmagazineMULTIMEDIA 1月号 (創刊号)

特集 マルチメディアのプラットフォームとしてのWindows95  
→Win95の最大の特徴はマルチメディア環境とネットワーク環境の融合にあるが、この事がユーザに何をもたらすのか

Part1 DirectXでWindowsマルチメディアが激変する  
→DirectXはDirectVideoやDirectDrawなどのグラフィック関連の高速化技術でWin95でサポート

Part2 これがWindows95のGameSDKだ  
→GameSDKはWin95のマルチメディア機能全般をカバーするソフトウェア開発キット

Part3 情報メディアに進化したWindows95

TESTLAB デジタルスチルカメラ12機種徹底比較  
→画像入力機器としても注目されつつあるデジタルスチルカメラの比較

○PCWAVE 2月号

特集 ノートPC武装化計画

Part1 96年のノート市場は、デスクトップ代替としての「省スペース」A4ノートの逆襲が始まる

Part2 世界最少のPC「PT110」専用の世界最少のカメラカード「デジタルカメラCE300」

イメージ入力デバイスとして普及に弾みがついたD S C一眼レフタイプ  
「ミノルタRD-175」

文字データをもとにDBづくり・・カーステレオ感覚で楽しめる「FM多  
重チューナカード」

画質が向上しメモリ消費も抑えられる“スマート”なカード型キャプチャ  
カード「SmartVideoCaptureCardII」

PC用とプリンタ用のI r D Aアダプタでケーブルレス印刷を楽しむ「J  
e t E y e P C

ノートPC用に企画されたオールインワンPDキット「PD／マルチメデ  
ィアキット」

1台でPCカードドライブと赤外線通信ポートをサポート「S m a r t  
P C C a r d D r i v e」

大容量フラッシュとコンパクトフラッシュ「F L A S H - P A C K E R 8  
5 M B 版」「F L A S H - P A C K E R m i n i」

特集 1996年ギョーカイはこうなる

Part1 インターネット時代のPC

Part2 変わりゆくネットワークの標準言語

Part3 消えゆくシリ／パラ／SCSI

Part4 端末に回帰するパソコン

Part5 モービルPC、PDAの行方を占う

Part6 MPEGの花開く

番外編 1996年のパソコン業界大予測

○LAN TIME 2月号

特集 複数サーバを管理する

→NetWare4、VINESにおけるNDSとStreetTalkの  
2つのディレクトリサービスは、複数あるサーバその他の資源を物理的な  
位置をユーザが意識せず一括管理することができる技術だが実際にはど  
のように管理すればよいか

PART1 NetWare4.1でスムーズにサーバ・資源をまとめるには

PART2 LANの統合管理におけるVINESという選択肢

INTEGRATION 最適クライアント環境を求めて32ビットOSを徹底比較する

→16ビットOSのDOS、Win3.1から32ビットへと進みつ  
つあるところでWinNT、OS/2Warp、Win95、Sy  
stem7.5の32ビットOSを比較

BUYER'S GUIDE 新しいネットワークの主役、LAN対応FAXサーバ

→LAN対応でデータベース、プリンタ、電子メールの次にくるのは  
FAXの共有